



日本リハビリテーション病院・施設協会主催

PT・OT・ST
リハビリ専門職
対象

リハ職のための 認知症ケア講座

今後、認知症の人がますます増えることが予測されています。認知症の人が入院した際に大切なことは、「出来るだけBPSDを誘発しないこと」です。認知症のケアにおいて時間がかかる重介護状態のひとつは言うまでもなくBPSDですが、BPSDが誘発されてからも、薬物療法だけでなく、対応のしかたによって症状の誘発の予防、軽減することもできます。褥瘡や低栄養の予防と同様に、BPSDは起きてからではなく起きる前の対応が重要です。

しかし、医療・介護現場においては、まだまだBPSDが「作られて」いる現状があり、大きな課題となっています。病院や施設等において、認知症症状の悪化を予防し、身体疾患の治療を円滑に受けられること、さらにはBPSDを誘発しない対応が行なえる（認知症の人への“対応力”を向上する）ことが大変重要と考えます。

本研修会は、リハビリ専門職がこれらのことを理解し、日々の現場で認知症ケアに適切にあたれることを目的としています。

【開催日】 2023年 7月 1日(土)
2日(日)

※2日間通しての受講が必要です。

【会場】 オンライン(zoom)

【対象者】 リハビリ専門職
(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)

【定員】 100名 (定員になり次第締め切り)

【参加費】 会員、非会員共通
1名につき：5,000円(税込)

※ 修了証の発行

研修全課程(2日間)を受講された方には、当協会から修了証を発行いたします。欠席、遅刻、早退、途中退席された場合には修了証の発行はできませんのでご注意ください。

【後援】

全国リハビリテーション医療関連団体協議会
一社) 回復期リハビリテーション病棟協会
一社) 全国デイ・ケア協会
一社) 日本言語聴覚士協会
一社) 日本作業療法士協会
一社) 日本訪問リハビリテーション協会
公社) 日本理学療法士協会
公社) 日本リハビリテーション医学会
NPO) 日本リハビリテーション看護学会

お申込みはこちらから ➡

<https://www.rehakyoh.jp/workshop>

締切日：2023年6月23日(金)



【お問合せ】



一般社団法人

日本リハビリテーション病院・施設協会

E-mail kenshu@rehakyoh.jp (松岡・山本)

研修プログラム

[7月1日(土)]

09:50-	zoom 入室開始
10:20-	オリエンテーション
10:25-	開会あいさつ
10:30-	① 認知症の原因疾患と病態・治療 【講師】 山口 晴保 (認知症介護研究・研修東京センター センター長) リハビリ専門職も、認知症の症状を引き起こす原因疾患に向き合うことが認知症ケアの基本となる。認知症の予防や治療により進行を遅らせることも含め、認知症疾患そのものを知ろう。
11:50-	昼休憩
12:30-	② リハ職に必要なコミュニケーション方法及び環境の調整方法 (演習含む) 【講師】 安原 千亜希 (内田病院 理学療法士) どのように認知症の人とコミュニケーションをとればよいのか。 その人が暮らしてきた生活環境を大切に、施設内での環境、あるいは地域での環境を整え、より穏やかに過ごしてもらうことを考えよう。 ----- 演習：コミュニケーションのとり方、医療チームでの対応の仕方などを、ディスカッションをとおして考える。
15:00-	休憩
15:10-	③ 認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援 【講師】 伊東 美緒 (群馬大学大学院保健学研究科 老年看護学 教授) 身体拘束が認知症の人に与える影響、生活リハビリの場の意思確認など、患者、家族の視点に立ちサポートすることを考えよう。
16:40-	終了 ----- 一日の振り返り

[7月2日(日)]

09:30-	zoom 入室開始
10:00-	④ 行動・心理症状 (BPSD)、せん妄の予防と対応法 (演習含む) 【講師】 田中 志子 (内田病院 理事長) 認知症の人をケアする上で一番の問題とも言えるのは、BPSD、せん妄等であろう。それらは、リハの阻害要因となる。対応力向上によって、これらの問題はどのように変わっていくのかを考えよう。 ----- 演習：BPSD、せん妄の対応の困難事例についてディスカッションをとおして考える。
12:20-	昼休憩
13:00-	⑤ 入院中の認知症患者に対するリハビリに必要なアセスメントと援助技術 (演習含む) 【講師】 藤生 大我 (大誠苑 理学療法士) 認知症の人に適切なリハビリを提供するためには、そのファーストステップとして、アセスメントをもとにリハ計画を立てることが必要であろう。そのために知っておかなければならないこと、見落としてならないことは何かを考えよう。 ----- 演習：認知症のある患者の症例を提示し、その患者の生活を支えるためのアセスメントの情報として求められているものは何か、また、必要なリハ技術は何かを考える。
15:30-	閉講 ----- 一日の振り返り

プログラムの内容は変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

オンライン研修会（LIVE 配信）参加方法

[オンライン研修会について]

- ・ 本研修会では、演習（グループワーク）がございましたのでパソコン、またはタブレット端末からご参加ください（スマートフォン不可）。
- ・ 当会オンライン研修会の参加には、Zoom への事前のご登録、Zoom アプリのご利用をお勧めしております。登録、アプリのダウンロードがなくても Web ブラウザからご参加いただけますが、使用するブラウザによって使える機能が制限されている点がございましたので、スムーズなご参加の為にもご検討ください。
→ Zoom のご登録はこちら → <https://zoom.us/>
- 「ミーティング用 Zoom クライアントアプリ」ダウンロード
→ https://zoom.us/download#client_4meeting

[参加申込について]

- ・ 参加申込には、個別のメールアドレス登録が必要です（申込者1名につき1アドレス）。登録するメールアドレスは、Zoom にサインアップしているメールアドレスをお勧めします（Zoom サインイン時のアドレスと研修会申込時のアドレスが違くと、研修会参加への不正参加を防ぐためブロックされる場合があります）。
- ・ 参加希望者は、お申し込み前に、下記 URL より視聴環境テストを行ってください。
→ <https://zoom.us/test>
- ・ 参加希望者は、当会会員マイページよりお申し込み後、会員マイページ管理者宛に申し込み確認メール及び参加費ご請求メールをお送りいたしますので、記載されている内容を確認の上、指定日までに参加費をご入金ください。
- ・ ご入金確認後、参加申込者個人宛に研修会開催の3営業日前までに研修会参加登録メールをお送りしますので、事前登録をお済ませください。登録完了後、参加 URL とパスコードが記載された確認メールが届きますので、そちらから研修会へ参加できるようになります。

[注意事項]

- ・ 研修全課程（2日間）を受講された方には、当協会から修了証を発行いたします。欠席、遅刻、早退、途中退席された場合には修了証の発行はできませんのでご注意ください。なお、研修中は、出席を確認しますので、必ずカメラ付きの機材で参加し、カメラはオンにして顔が映るようにしてください。
- ・ ご入金後のキャンセル、参加費の返金はいたしかねます。お申込者側の回線やデバイスに起因するトラブルによりご視聴ができなくなった場合でも返金できません。
- ・ 天候及び交通機関等の状況や回線トラブル等により、主催者側からセミナーを中止した場合には、同内容の研修会の再開催に振り替えさせていただきます。
- ・ 研修会は申込者のみ受講いただけます。複数端末から同時に視聴することや複数人での視聴は禁止いたします。
- ・ 申込者のみ視聴可能な為、パスコードを設定しています。申込者以外の参加を防ぐ為、パスコードを外部に漏洩しないでください。万が一外部者が侵入した場合は、管理者側で部外者の退出、あるいは研修会を終了することがございます。

その他、オンライン研修会参加方法の詳細については、

別紙「日本リハビリテーション病院・施設協会主催オンライン研修会【LIVE 配信】

ご参加にあたってのお願い・注意事項・よくあるご質問と回答（FAQ）」をご確認ください。